

# 景気動向調査結果

(平成25年1月分)

長野県商工労働部

この調査は、県内企業 900 社（製造業 300 社（うち面接 65 社）、建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業 600 社）を対象に、平成 25 年 1 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、平成 25 年 2 月に面接又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査からは、従来の「製造業」に、「建設業」、「情報サービス業」、「小売業・卸売業」、「飲食業・宿泊業」も加えて実施しております。

回答企業数は、555 社（製造業 251 社（うち面接 65 社）、建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業 304 社）で、回答率は 61.7 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

[URL <http://www.pref.nagano.lg.jp/syoukou/sinkou/keiki/keikidoukou.htm> ]

お問い合わせ先：製造業について

長野県商工労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2919）

建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業について

長野県商工労働部経営支援課（TEL 026-232-0111 内線 2959）

# 平成25年1月の景気動向

## 1 総論

長野県経済は、緩やかながら持ち直しに向けた動きがみられるものの、依然として弱めの動きとなっています。

製造業では、電機・電子や一般機械の一部で、持ち直しの動きがみられるものの、海外需要の減少やエコカー補助金終了による影響の継続などにより、自動車部品を中心に受注、生産が減少しています。

非製造業では、情報サービス業など一部において需要の増加がみられるものの、個人消費が引き続き低迷していることから、業況は低調に推移しています。

## 2 製造業

### (1) 業界の業況

前年同期（24年1月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差、%）は $\Delta 49.2$ となり、8期連続のマイナスとなりましたが、前回調査時（24年10月）の $\Delta 57.4$ より8.2ポイント改善しました。

3か月前（24年10月）と比較したD Iは $\Delta 40.8$ となり、6期連続のマイナスとなりましたが、前回調査時の $\Delta 50.4$ より9.6ポイント改善しました。また、前回調査時の3か月後の予想値 $\Delta 48.1$ と比較しても、7.3ポイント改善しました。

なお、3か月後（25年4月）の予想では、海外景気のさらなる下振れや、原材料価格上昇などの懸念はあるものの、輸出環境の改善や、それに伴う国内景気回復への期待感などを背景に、D Iは $\Delta 8.9$ となり、前回調査時の予想値 $\Delta 48.1$ より39.2ポイントと大幅に改善しました。

### 〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、パソコン関連は、受注、生産の回復がみられるものの、製品価格が低下しています。プリンターは、海外需要が減少したほか、国内における需要も減少傾向にあるため、受注、生産の減少がみられます。半導体関連、抵抗器・コンデンサ、モーター等は、デジタル家電向けで受注、生産が減少しているものの、一部に持ち直しの動きもみられます。

イ 一般機械では、工作機械は、半導体関連向けで、設備投資が抑制傾向にあり、生産の減少がみられるものの、自動車関連向けでは、海外向けで、持ち直しの動きがみられます。建設機械は、国内向けで、復興需要の継続により、受注、生産が増加しているものの、海外向けでは、一部地域の需要の減少により、受注、生産に一服感がみられます。

ウ 精密では、時計は、高価格帯製品の需要は増加しているものの、海外需要の減少により、受注、生産の減少がみられます。レンズは、プロジェクター向けの一部で、受注、生産の持ち直しがみられるものの、自動車関連向けでは、エコカー補助金終了による影響の継続や中国における自動車販売の減少により、受注、生産の減少がみられます。計器は、圧力計で、産業機械関連向けを中心に、受注、生産が減少しています。

エ 自動車部品では、エコカー補助金終了による影響の継続や中国における自動車販売の減少により、受注、生産が減少しています。

オ 食料品では、味そは、季節的要因により、受注、生産が減少しているほか、原材料価格上昇による収益率の低下もみられます。酒類は、一部に受注、生産の増加がみられるものの、消費の低迷により引き続き低調に推移しています。飲料は、一部の製品で、受注、生産の増加がみられるものの、季節的要因により、ペットボトル飲料を中心に、受注、生産が減少しています。

## (2)受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が10.7%と前回(10.7%)と同じとなり、「減少」とする企業が54.1%と前回(60.1%)より減少した結果、D Iは前回(△49.4)より改善し、△43.4となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が11.5%と前回(11.1%)とほぼ同じとなり、「減少」とする企業が49.2%と前回(52.7%)より減少した結果、D Iは前回(△41.6)より改善し、△37.7となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が18.6%、「減少」とする企業が29.3%となった結果、D Iは前回予想(△45.3)より大幅に改善し、△10.7となりました。

## (3)生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が11.3%と前回(14.9%)より減少したものの、「減少」とする企業も55.6%と前回(58.9%)より減少した結果、D Iは前回(△44.0)とほぼ同じ△44.3となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が12.1%と前回(12.8%)よりやや減少したものの、「減少」とする企業も48.4%と前回(49.6%)より減少した結果、D Iは前回(△36.8)よりやや改善し、△36.3となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が17.7%、「減少」とする企業が30.2%となった結果、D Iは前回予想(△42.9)より大幅に改善し、△12.5となりました。

## (4)製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が5.7%と前回(4.1%)より増加し、「安い」とする企業が38.6%と前回(42.3%)より減少した結果、D Iは前回(△38.2)より改善し、△32.9となりました。

3か月前との比較では、「高い」とする企業が5.3%と前回(2.1%)より大幅に増加し、「安い」とする企業が16.3%と前回(22.8%)より減少した結果、D Iは前回(△20.7)より改善し、△11.0となりました。

3か月後の予想については、「高い」とする企業が4.1%、「安い」とする企業が18.1%となった結果、D Iは前回予想(△24.0)より改善し、△14.0となりました。

## (5)資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が6.7%と前回(5.1%)より増加し、「苦しい」とする企業が29.6%と前回(31.6%)より減少した結果、D Iは前回(△26.5)より改善し、△22.9となりました。

3か月前との比較では、「らく」とする企業が6.2%と前回(5.1%)より増加し、「苦しい」とする企業が22.8%と前回(24.9%)より減少した結果、D Iは前回(△19.8)より改善し、△16.6となりました。

3か月後の予想については、「らく」とする企業が5.4%、「苦しい」とする企業が22.2%となった結果、D Iは前回予想(△26.7)より改善し、△16.8となりました。

## (6)収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が9.8%と前回(12.5%)より減少したものの、「低下」とする企業も53.5%と前回(57.9%)より減少した結果、D Iは前回(△45.4)より改善し、△43.7となりました。

3か月前との比較では、「上昇」とする企業が6.9%と前回(7.9%)よりやや減少したものの、「低下」とする企業も45.7%と前回(49.2%)より減少した結果、D Iは前回(△41.3)より改善し、△38.8となりました。

3か月後の予想については、「上昇」とする企業が11.5%、「低下」とする企業が33.2%となった結果、D Iは前回予想(△43.1)より改善し、△21.7となりました。

## (7) 製造業の業種別動向

### 電機・電子

(コンピュータ・情報機器) パソコン関連は、受注、生産の回復がみられるものの、製品価格が低下しています。プリンターは、海外需要が減少したほか、国内における需要も減少傾向にあるため、受注、生産の減少がみられます。

(半導体関連) 自動車関連向けの一部で、持ち直しの動きがみられるものの、デジタル家電向けでは、需要の減少により、受注、生産が減少しているほか、産業用途で、受注、生産が弱含んでいます。

(プリント基板) 産業用途は、海外需要の減少により、受注、生産が減少しています。スマートフォン向けは、受注、生産に一服感がみられるほか、製品価格低下による収益率の低下もみられます。

(抵抗器・コンデンサ等) エネルギー関連向けで、太陽光発電の普及拡大に伴い、受注、生産の増加がみられるものの、デジタル家電向けでは、需要の減少により、受注、生産が減少しています。自動車関連向けの一部では、エコカー補助金終了による影響の継続や中国における自動車販売の減少により、受注、生産が弱含んでいます。

(モーター等) 家電向けの一部で、アジアを中心とした新興国の需要増加や省エネ家電製品の販売増加に伴い、受注、生産の持ち直しがみられるものの、自動車関連向けでは、エコカー補助金終了による影響の継続により、受注、生産が減少しています。

(その他) カーナビゲーションは、受注、生産が弱含んでいるほか、製品価格低下による収益率の低下もみられます。電源関連は、一部に需要の増加がみられるものの、低調に推移しています。

### 一般機械

(工作機械) 半導体関連向けで、設備投資が抑制傾向にあり、生産の減少がみられるものの、自動車関連向けでは、海外向けで、持ち直しの動きがみられます。

(金型) 自動車関連向けは、受注、生産が低調に推移しているほか、価格競争激化による収益率の低下もみられます。

(建設機械) 国内向けで、復興需要の継続により、受注、生産が増加しているものの、海外向けでは、一部地域の需要の減少により、受注、生産に一服感がみられます。

(農業用機械)	農業用機械は、一部の需要の増加により、受注、生産が増加しています。芝刈り機や小型ディーゼルエンジンは、海外需要の減少により、受注、生産が減少しています。
<b>精 密</b> (時計)	腕時計は、高価格帯製品の需要は増加しているものの、海外需要の減少により、受注、生産の減少がみられます。
(レンズ)	プロジェクター向けの一部で、受注、生産の持ち直しがみられるものの、自動車関連向けでは、エコカー補助金終了による影響の継続や中国における自動車販売の減少により、受注、生産の減少がみられます。
(計器)	圧力計で、産業機械関連向けを中心に、受注、生産が減少しているほか、LP ガスメーターで、季節的要因により、受注、生産の減少がみられます。
<b>自動車部品</b>	エコカー補助金終了による影響の継続や中国における自動車販売の減少により、受注、生産が減少しています。
<b>食 料 品</b> (味 ぞ)	季節的要因により、受注、生産が減少しているほか、原材料価格上昇による収益率の低下もみられます。
(酒 類)	清酒、ワインは、一部に受注、生産の増加がみられるものの、消費の低迷により引き続き低調に推移しています。
(飲 料)	一部の製品で、受注、生産の増加がみられるものの、季節的要因により、ペットボトル飲料を中心に、受注、生産が減少しています。
<b>繊維・衣服</b>	ワイシャツは、季節的要因により、生産が増加しています。
<b>紙 ・ パルプ</b>	ダンボールは、青果物向けで、季節的要因により、受注、生産の減少がみられます。
<b>印 刷</b>	印刷・製本の需要の低迷により、引き続き低調に推移しています。
<b>そ の 他</b>	工業用プラスチックは、スマートフォン向けで、受注、生産の増加がみられます。

## 3 非製造業

### (1) 業界の業況

非製造業のD Iは、建設業を除く情報サービス業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業で改善しました。

前年同期（24年1月）と比較したD Iは $\Delta 40.5$ となり、前回調査時（24年10月）の $\Delta 48.1$ より7.6ポイント改善しました。

3か月前（24年10月）と比較したD Iは $\Delta 42.2$ となり、前回調査時の $\Delta 31.7$ より10.5ポイント悪化しました。また、前回調査時の3か月後の予想値 $\Delta 44.1$ と比較すると、1.9ポイント改善しました。

なお、3か月後（25年4月）の予想では、景気の先行きに対する期待などにより、D Iは $\Delta 11.6$ となり、前回調査時の予想値 $\Delta 44.1$ より32.5ポイントと大幅に改善しました。

### (2) 各業界の動き

#### ア 建設業

建設業の業況感は、D Iが $\Delta 22.8$ と前回（ $\Delta 17.7$ ）より悪化しました。

民間工事では、新規取引先や住宅の受注件数の増加がみられるものの、公共工事では、事業者間の受注競争により引き続き厳しい受注環境にあり、全体として客数（受注件数）は、おおむね横ばい圏内で推移しています。

#### イ 情報サービス業

情報サービス業の業況感は、D Iが40.0と前回（14.3）より大幅に改善しました。

ソフトウェア関連では、引き続きタブレット型端末向けなどの需要が堅調であり、一部ではデスクトップ型端末向けの需要が増加するなどの動きがみられます。

業務用システム関連では、取引先の外注費の抑制や事業者間の受注競争等により、売上高は前年同期を下回る企業の割合が増加しました。

#### ウ 小売業・卸売業

小売業・卸売業の業況感は、D Iが $\Delta 45.6$ と前回（ $\Delta 53.2$ ）より改善しました。

小売業では、大雪の影響があったものの、年末年始の消費に改善がみられ、売上高、客数（取引先）はともに前年同期を上回る企業の割合が増加しました。

卸売業では、大型店との価格競争や地元取引先の減少等により厳しい状況が続いているものの、一部では、太陽光発電に関する商品などの需要が増加しています。

#### エ 飲食業・宿泊業

飲食業・宿泊業の業況感は、D Iが $\Delta 39.0$ と前回（ $\Delta 55.5$ ）より改善しました。

飲食業では、消費の低迷により販売価格及び資金繰りは低調に推移しているものの、年末年始の需要などにより、売上高、客数はともに前年同期を上回る企業の割合が増加しました。

宿泊業では、引き続き低価格プランへの集中による販売価格の低迷や中央自動車道の通行規制の影響がみられるものの、年末年始の需要により、売上高は前年同期を上回る企業の割合が増加しました。

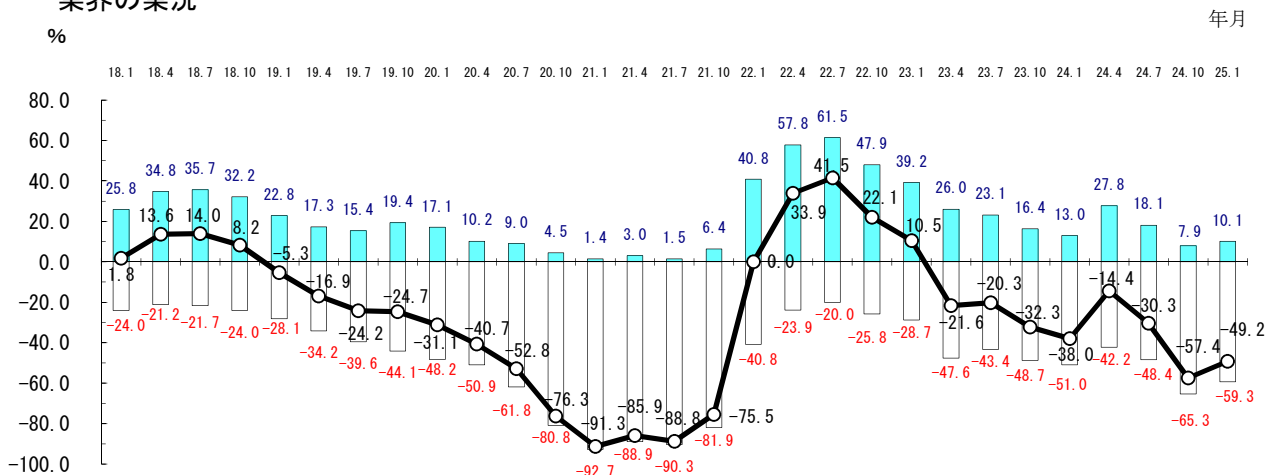
# 景気動向調査集計結果

(注)棒グラフのプラス側は好転(増加、上昇)の企業の割合、マイナス側は悪化(減少、低下)の企業の割合です。  
折れ線グラフ(DI)は好転(増加、上昇)の企業の割合から悪化(減少、低下)の企業の割合を引いた差です。

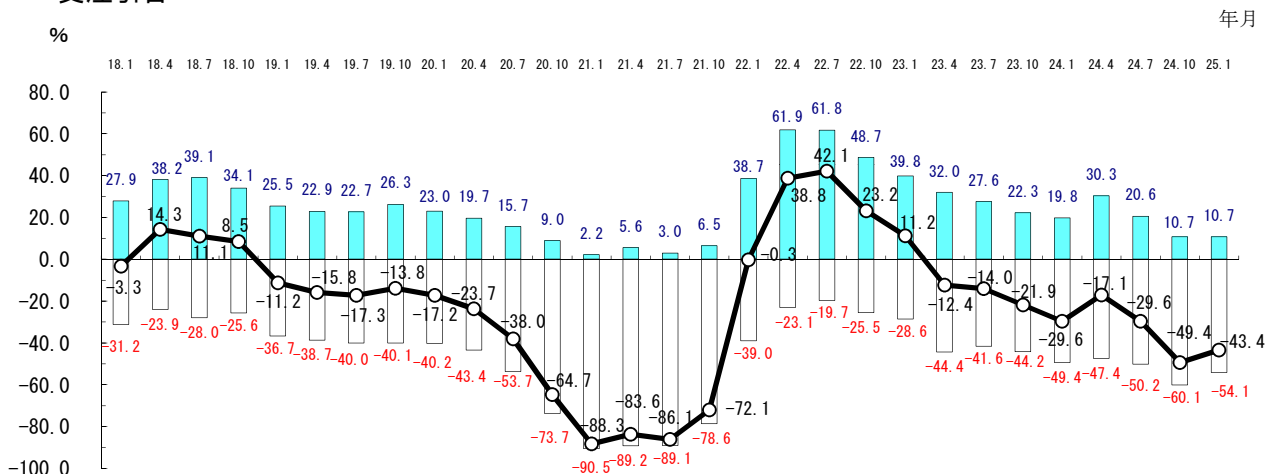
## 1 製造業

### (1) 全業種 前年同期に比べて

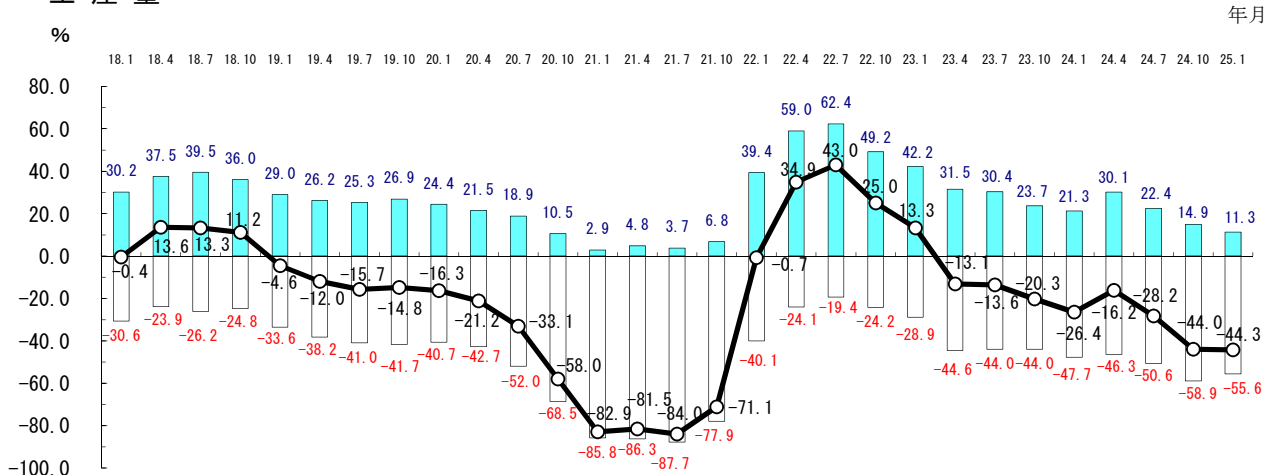
#### 業界の業況



#### 受注引合



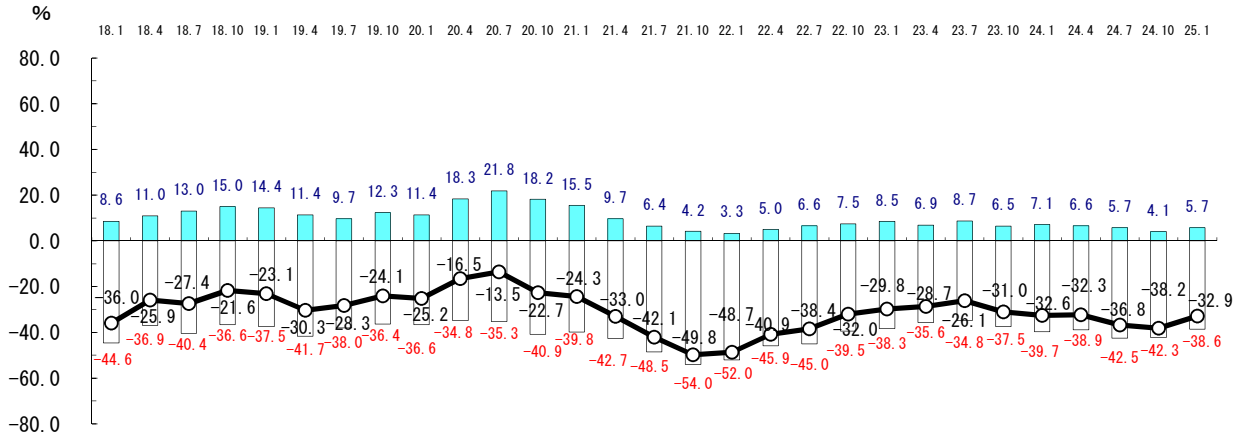
#### 生産量





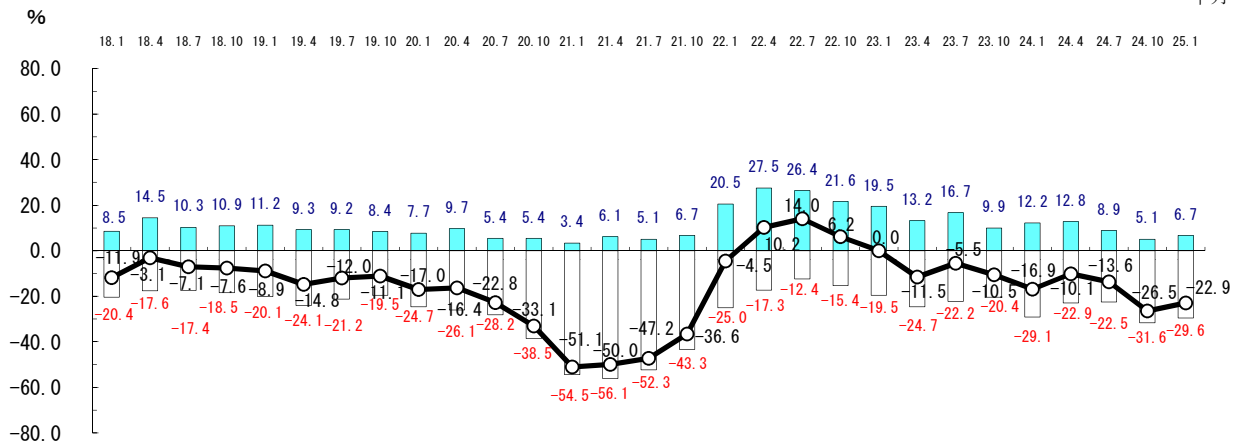
## 製品販売価格

年月



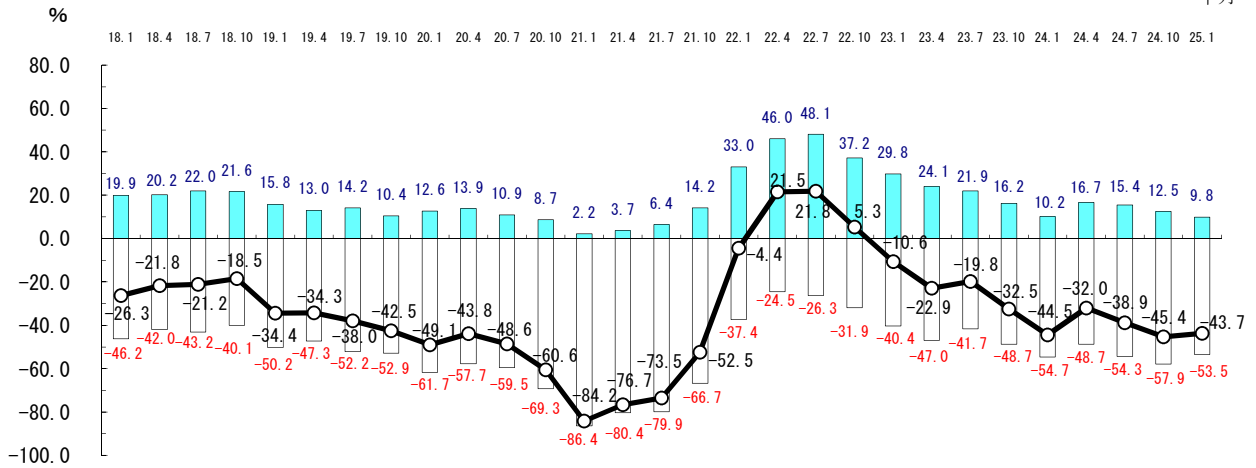
## 資金繰り

年月



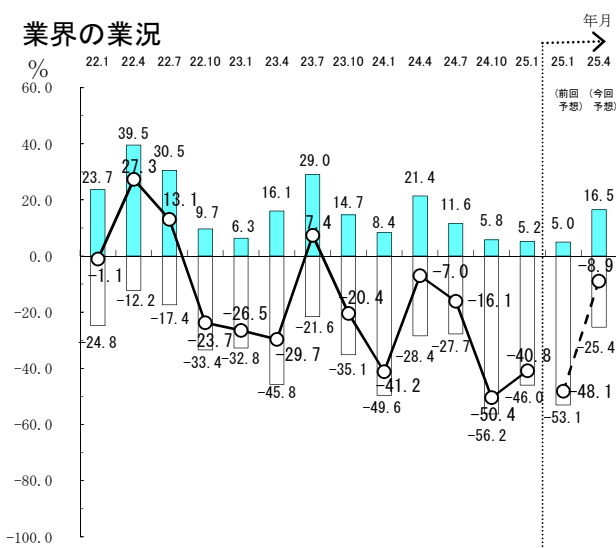
## 収益率

年月

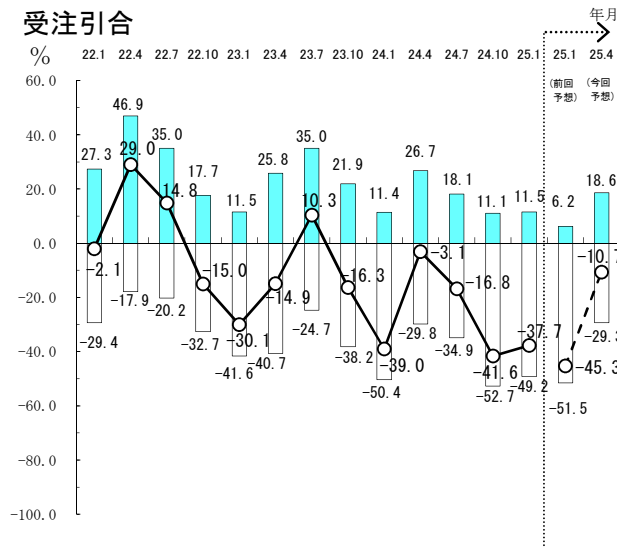


## (2) 全業種 3か月前に比べて及び3か月後の予想

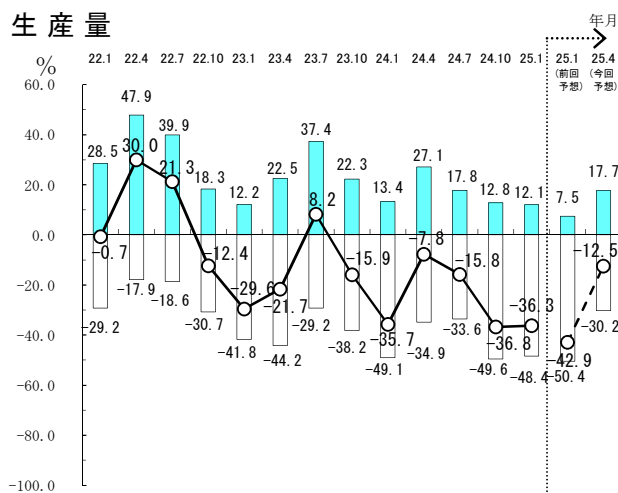
### 業界の業況



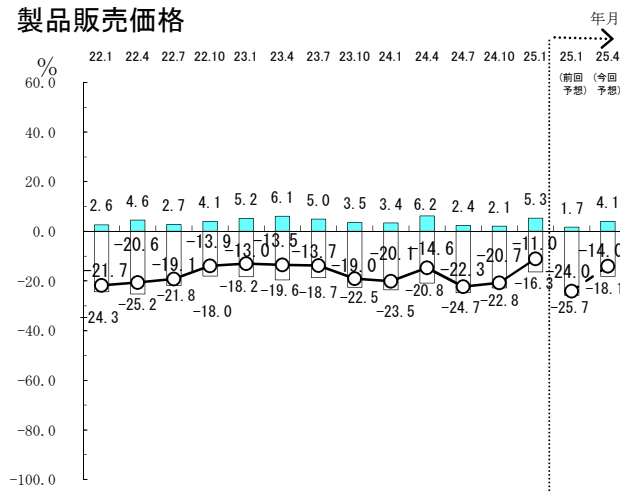
### 受注引合



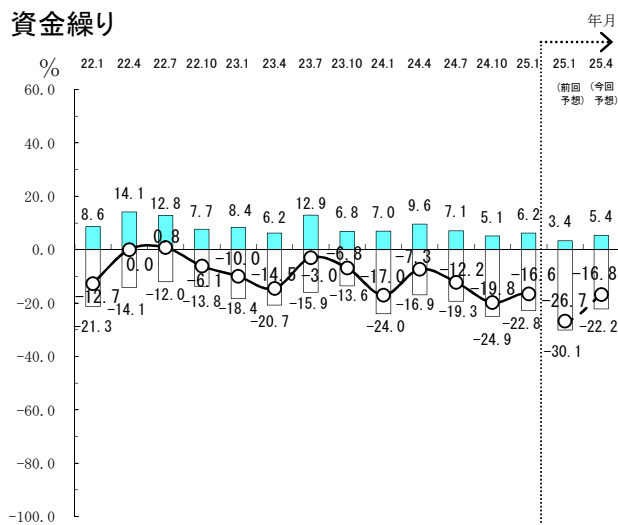
### 生産量



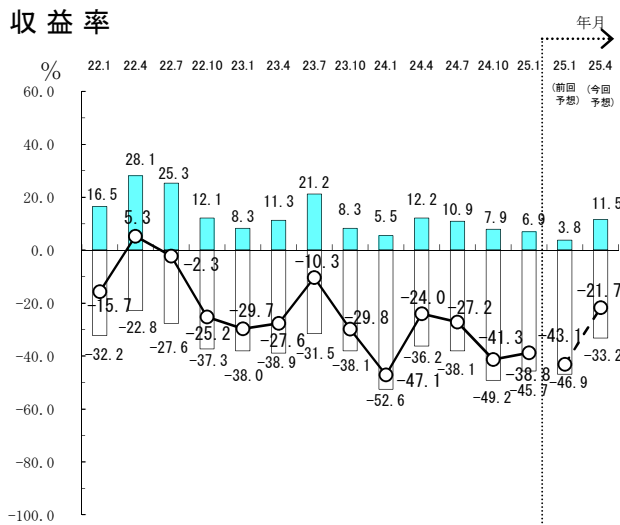
### 製品販売価格



### 資金繰り



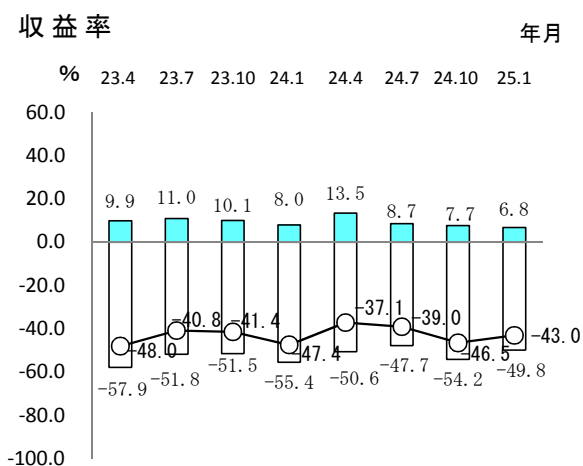
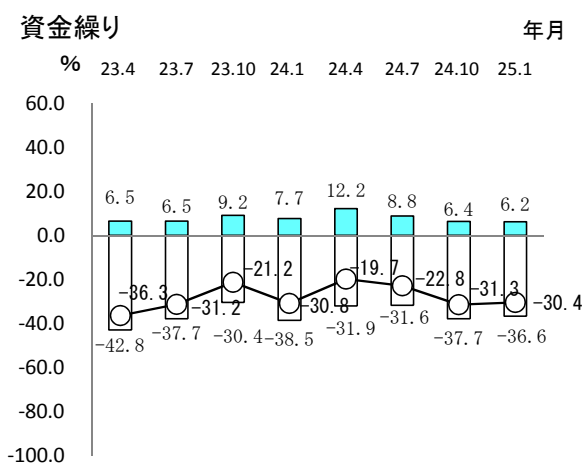
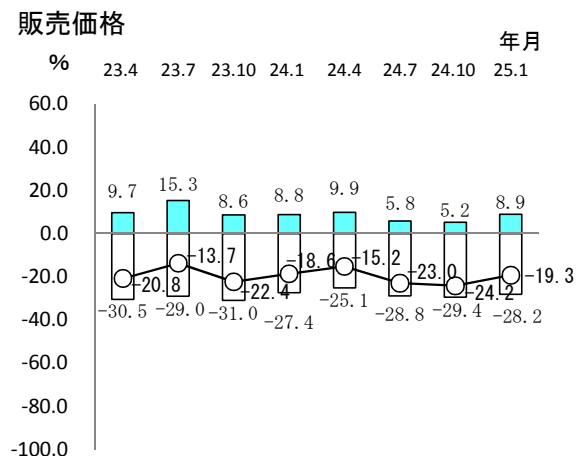
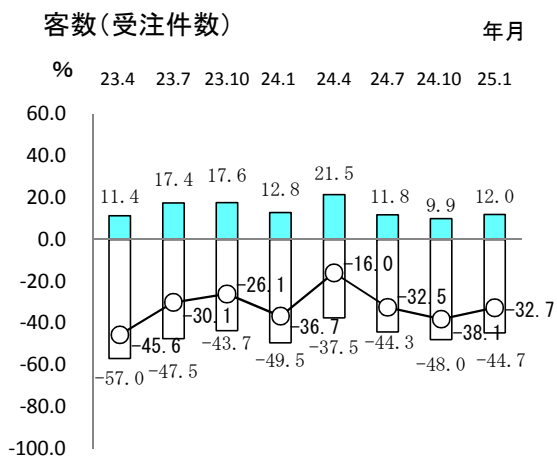
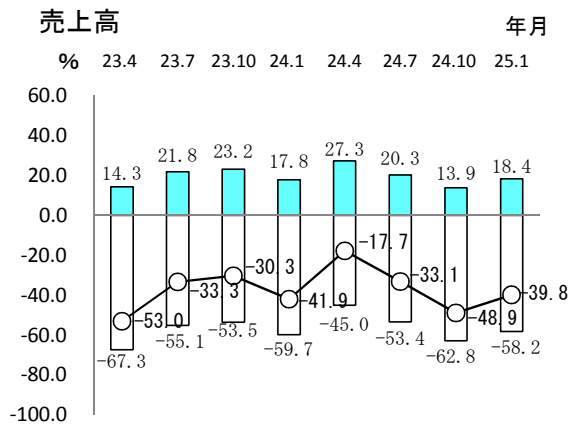
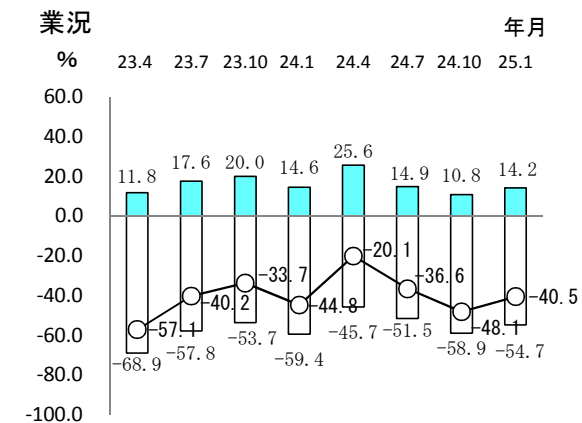
### 収益率



## 2 非製造業

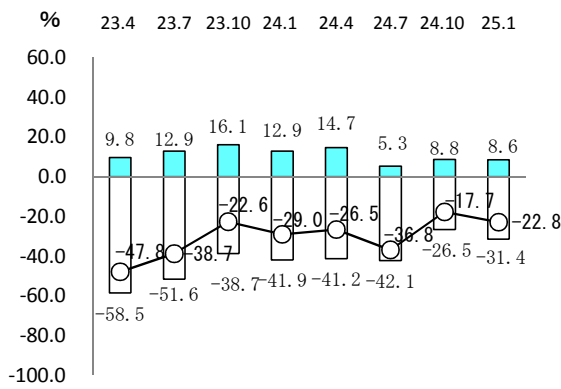
### (1) 前年同期に比べて

#### ア 非製造業全体

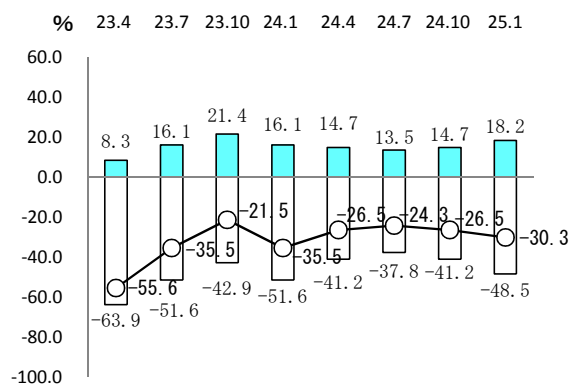


# イ 建設業

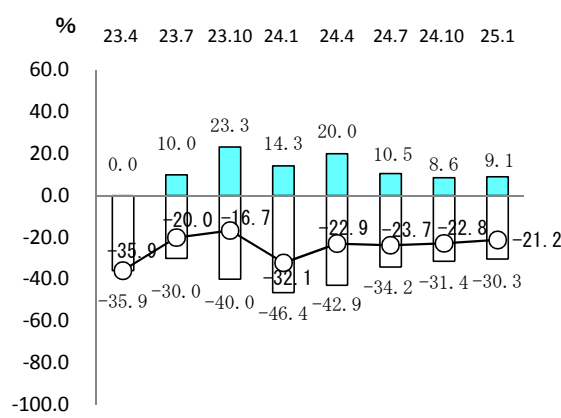
業況



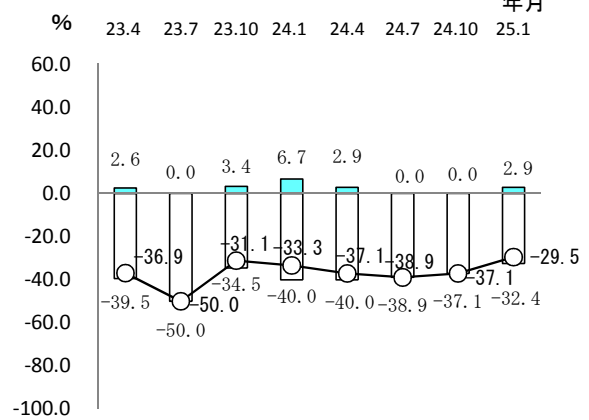
売上高



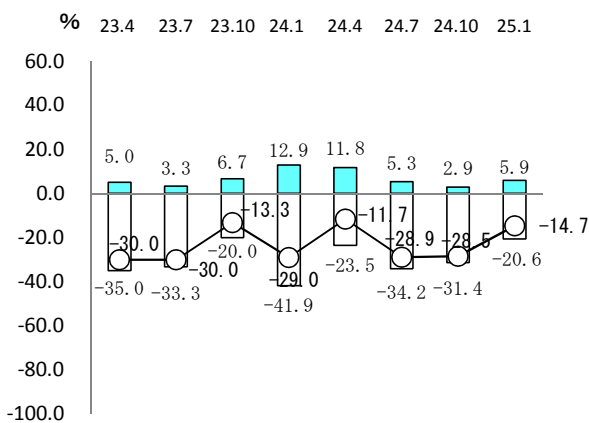
客数(受件件数)



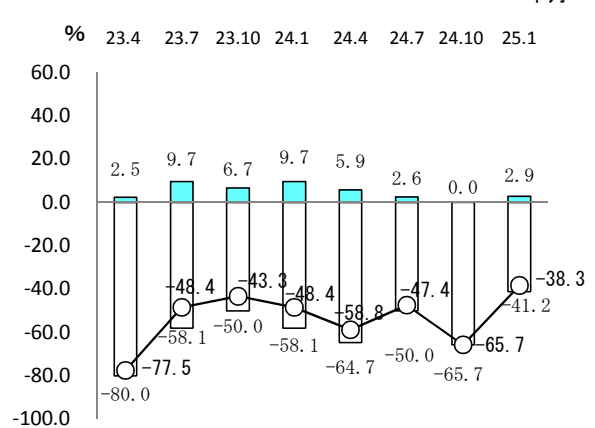
販売価格



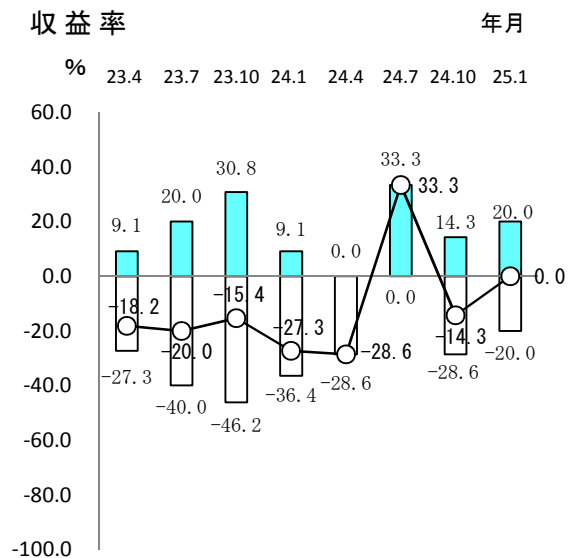
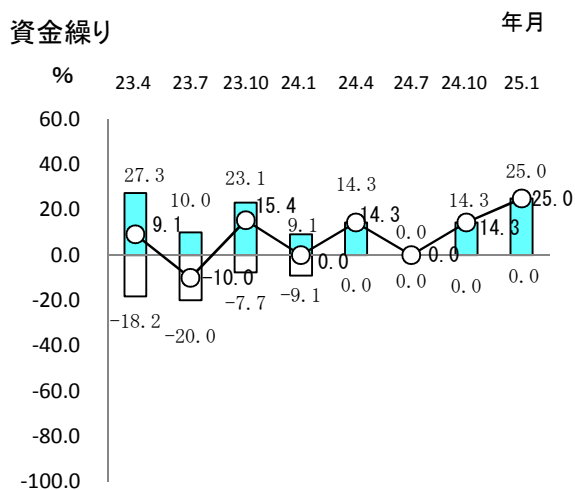
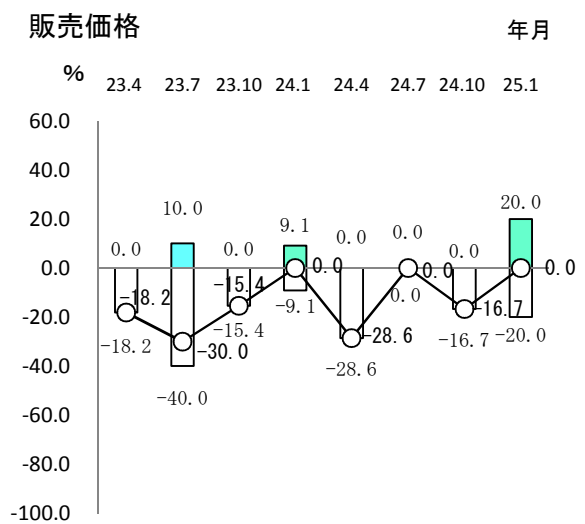
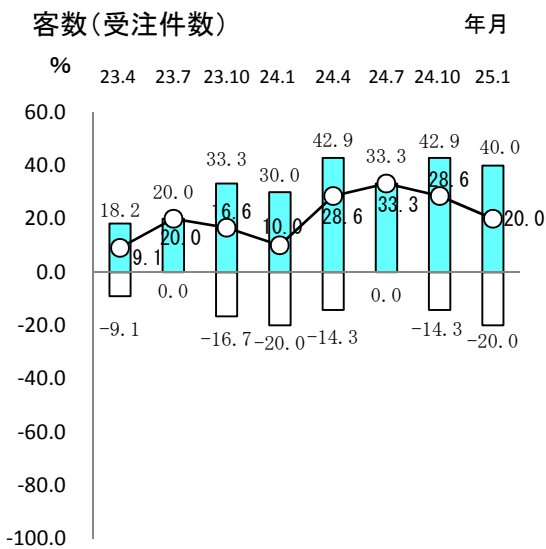
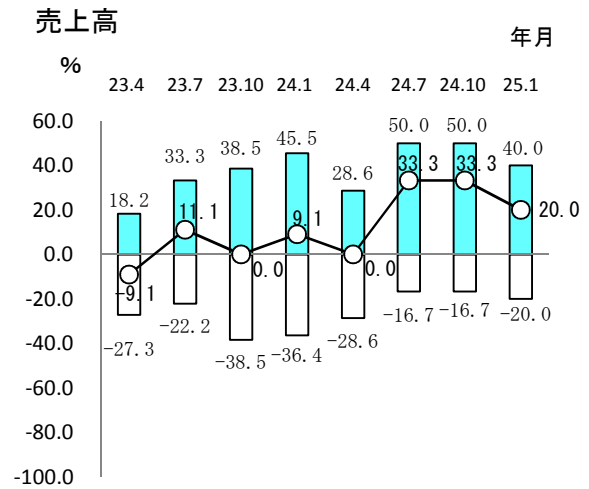
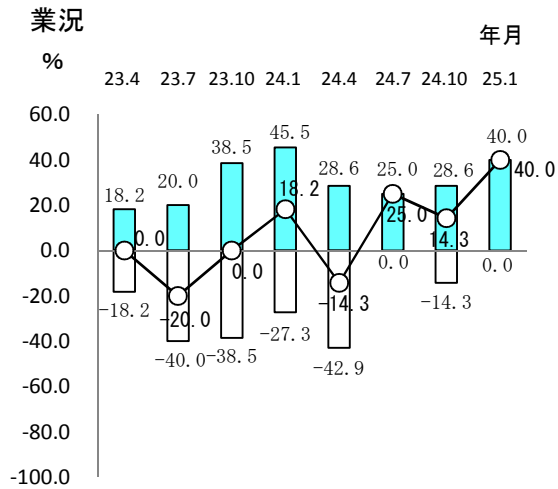
資金繰り



収益率

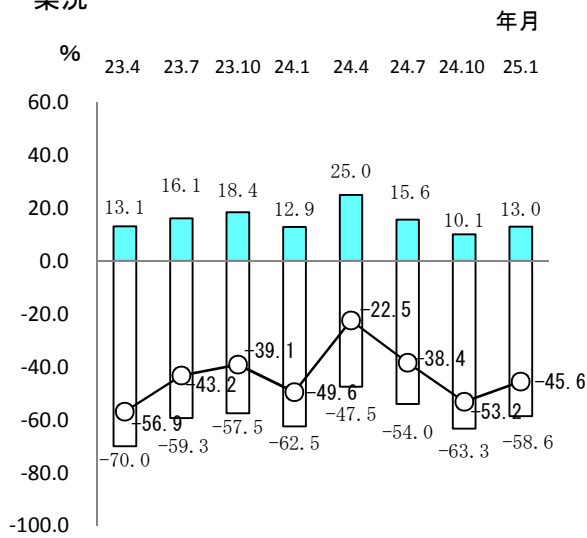


# ウ 情報サービス業

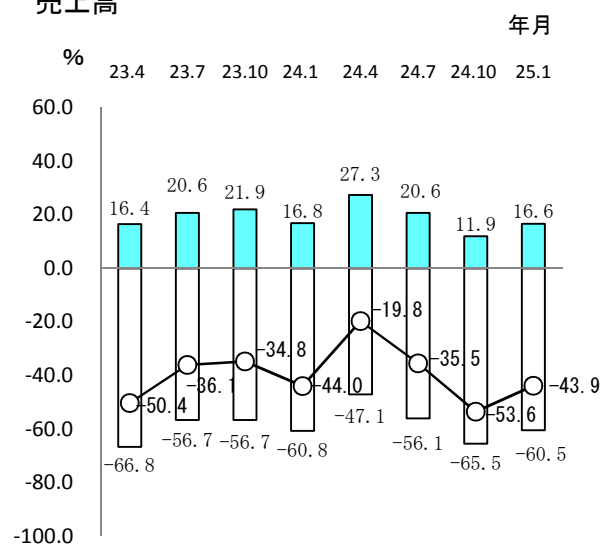


## 工 小売業・卸売業

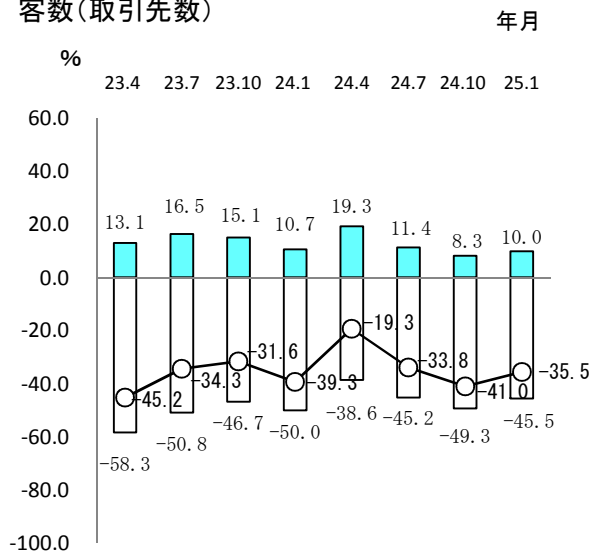
### 業況



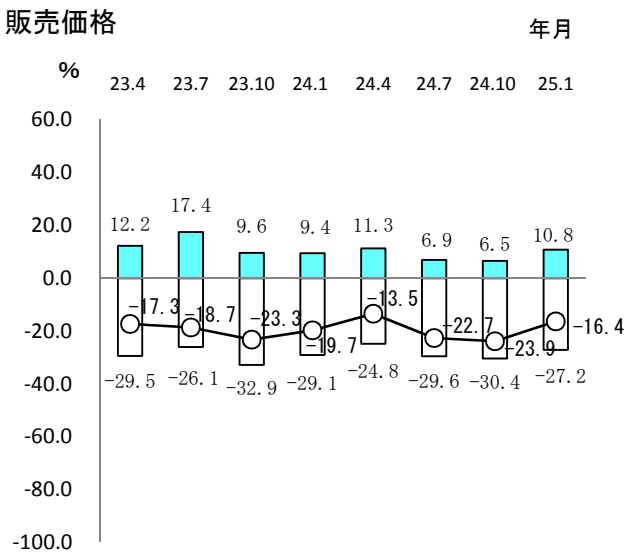
### 売上高



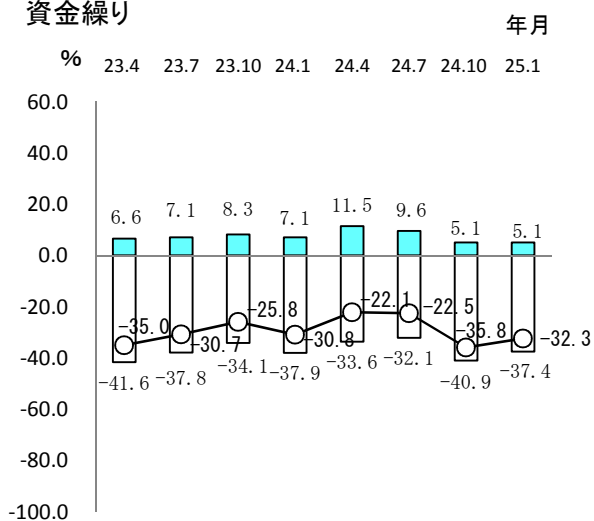
### 客数(取引先数)



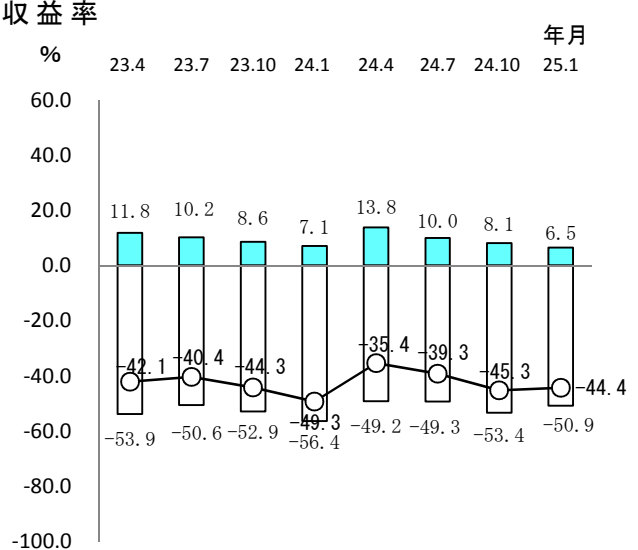
### 販売価格



### 資金繰り

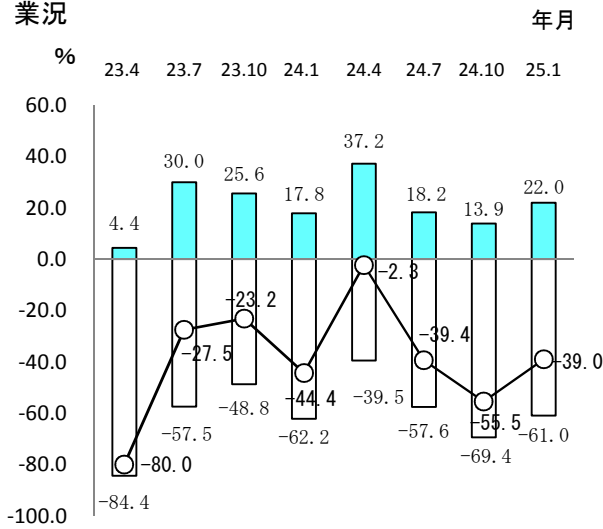


### 収益率

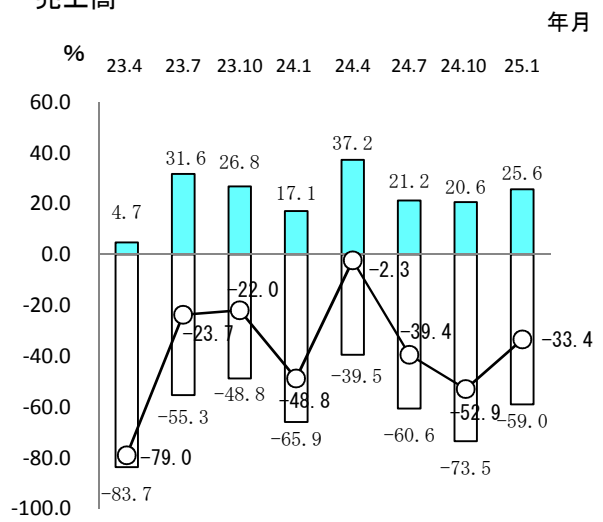


才 飲食業・宿泊業

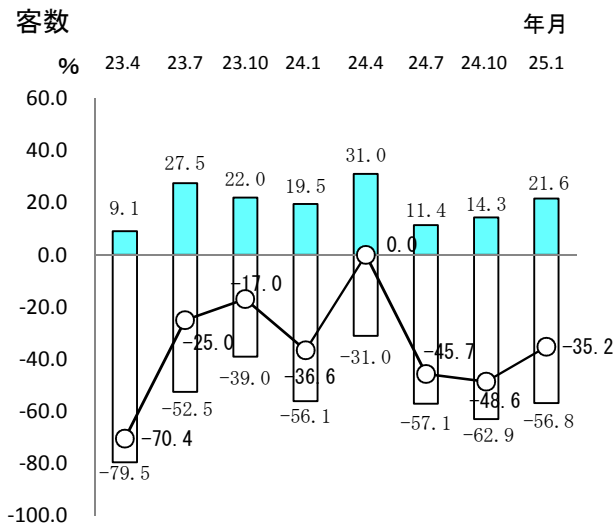
業況



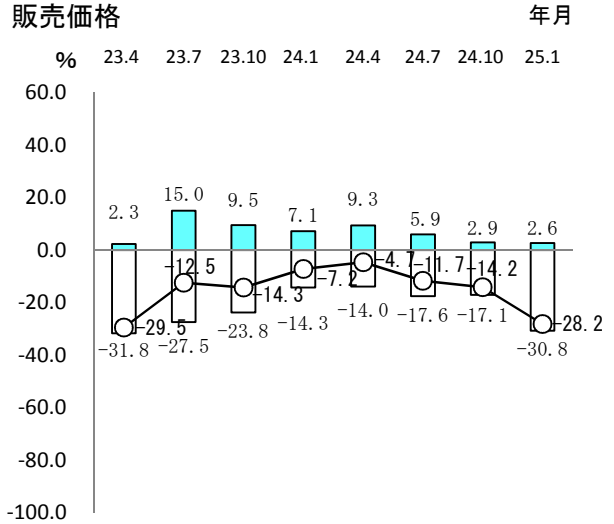
売上高



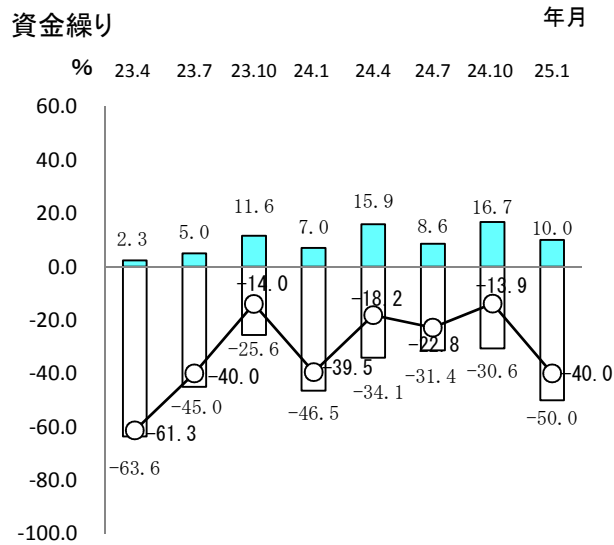
客数



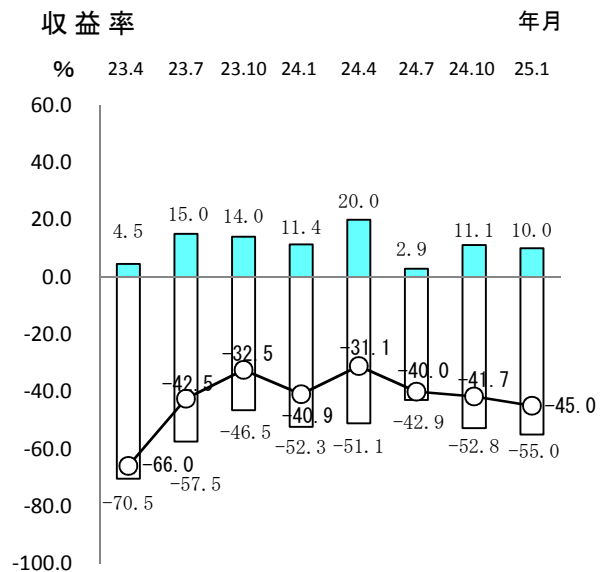
販売価格



資金繰り



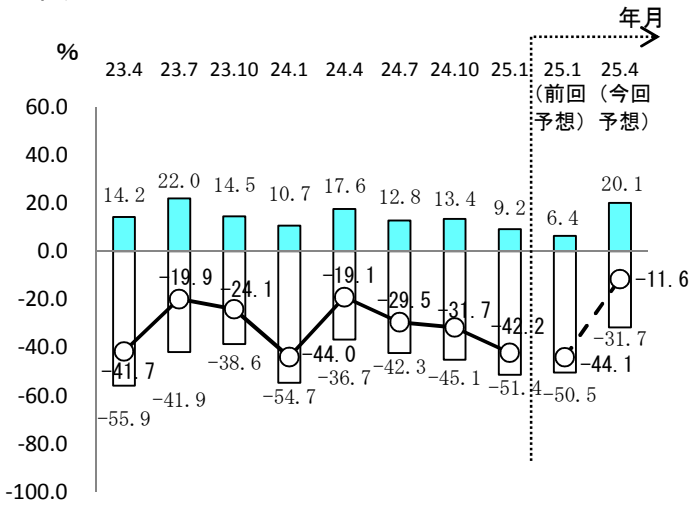
収益率



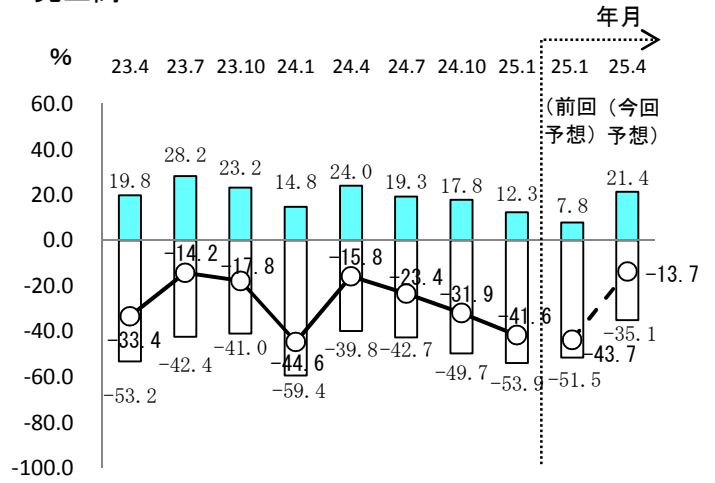
(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

ア 非製造業全体

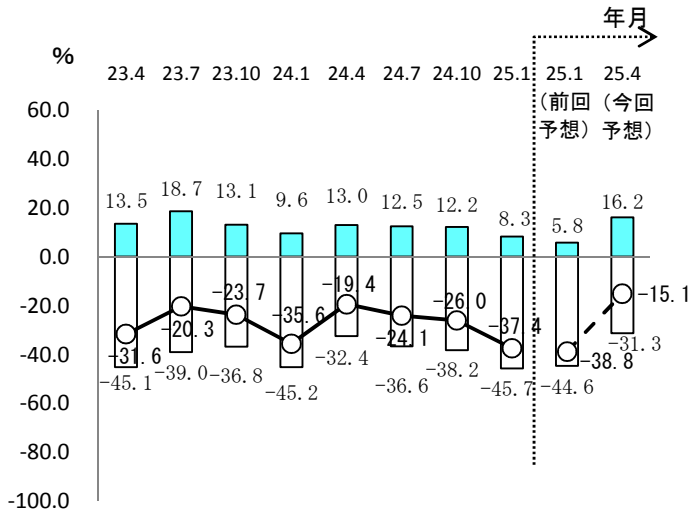
業況



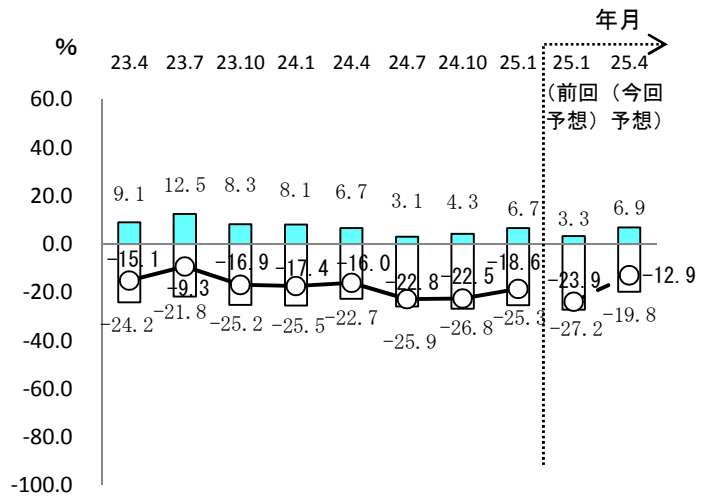
売上高



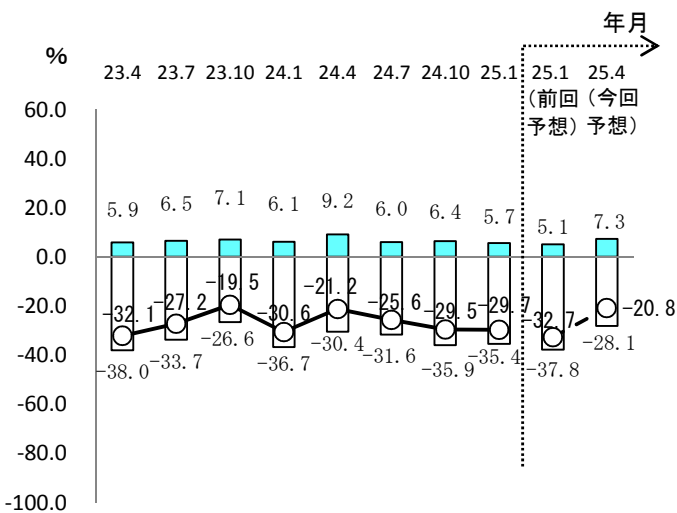
客数(受注件数)



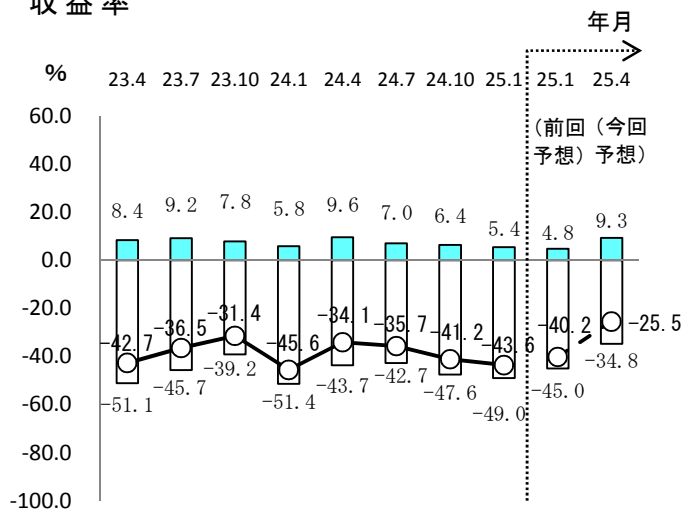
販売価格



資金繰り



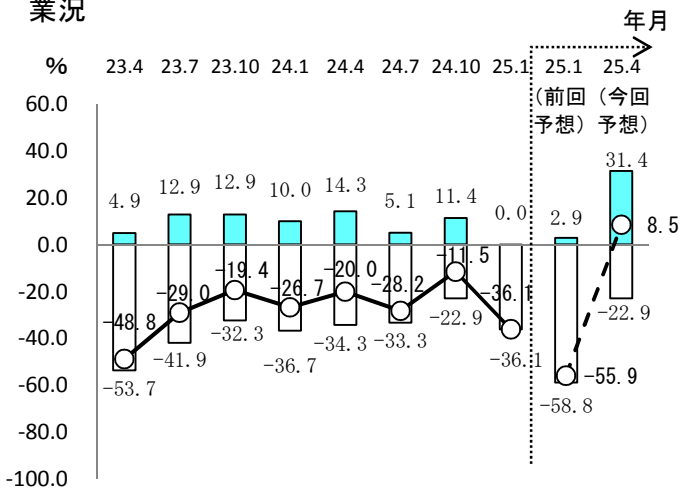
収益率



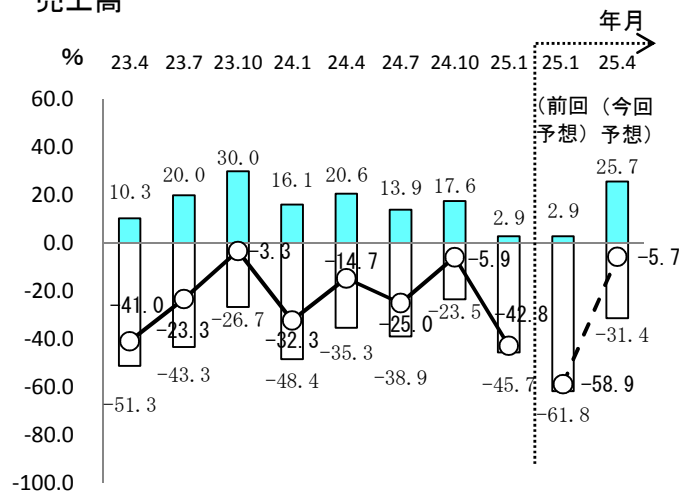


# イ 建設業

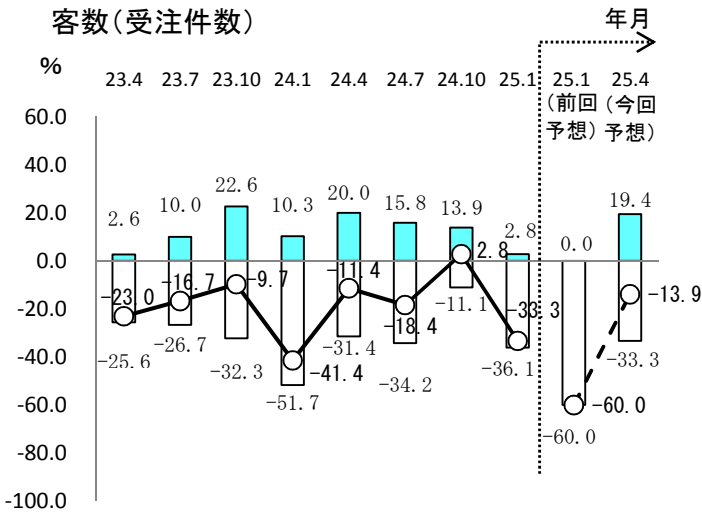
## 業況



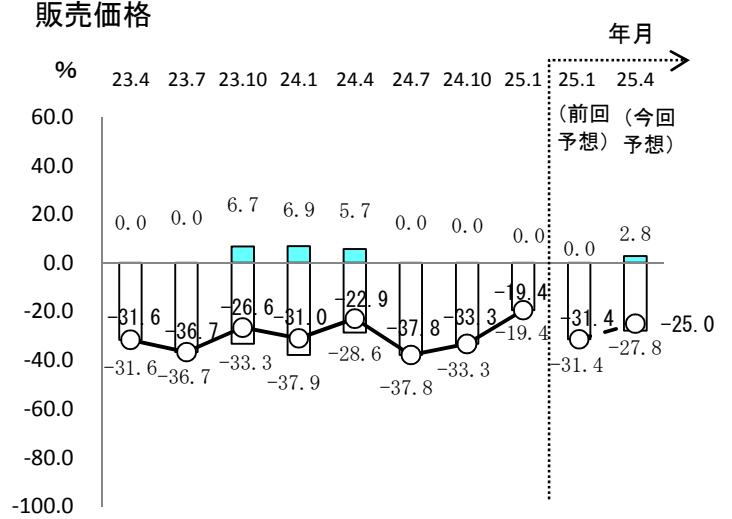
## 売上高



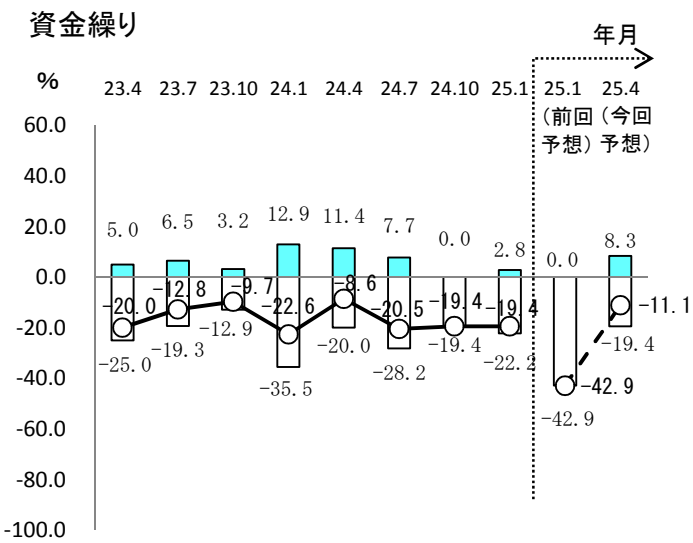
## 客数(受注件数)



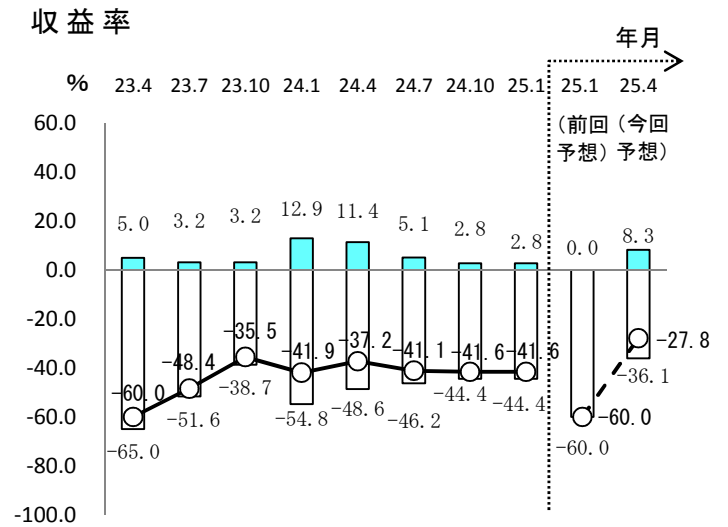
## 販売価格



## 資金繰り

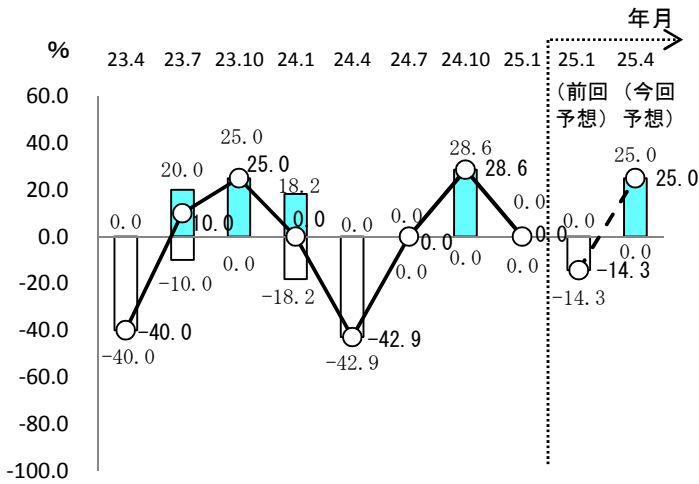


## 収益率

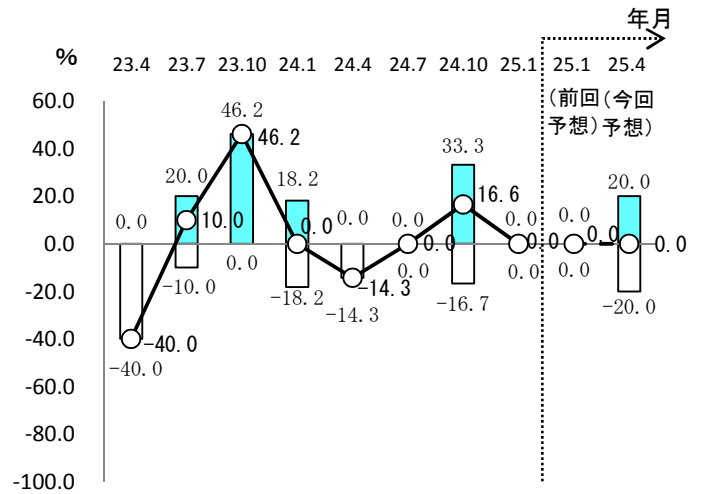


# ウ 情報サービス業

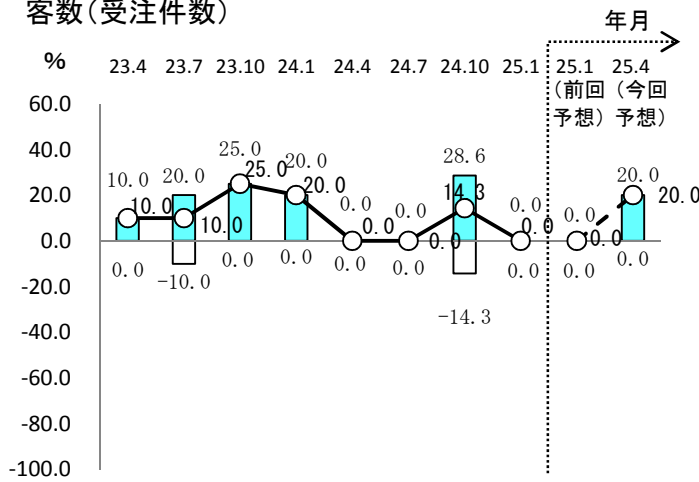
## 業況



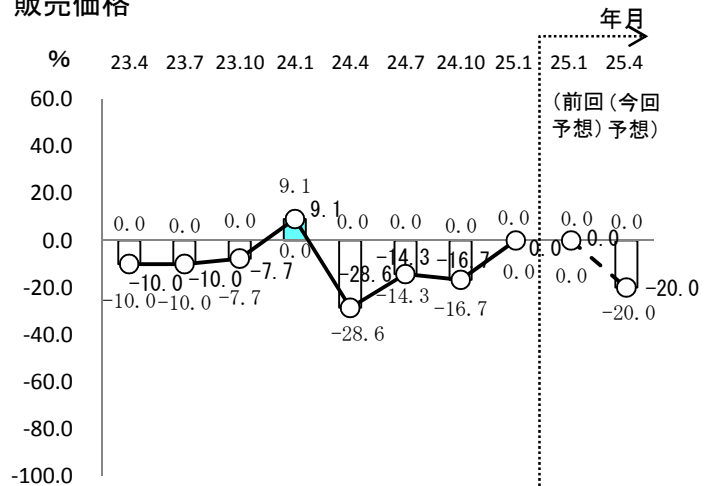
## 売上高



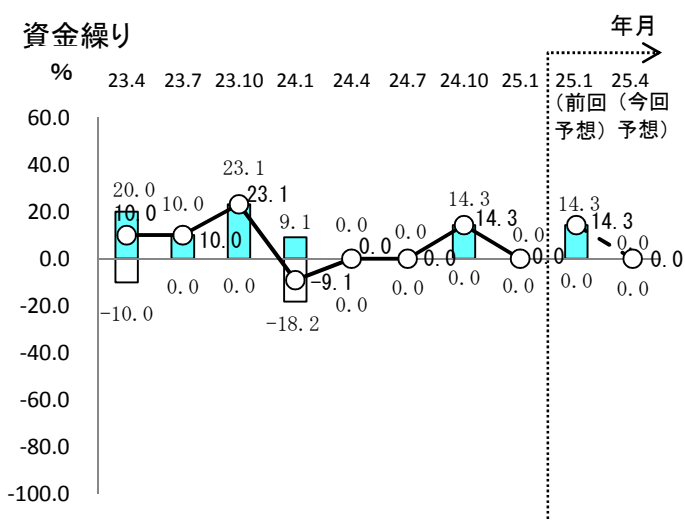
## 客数 (受注件数)



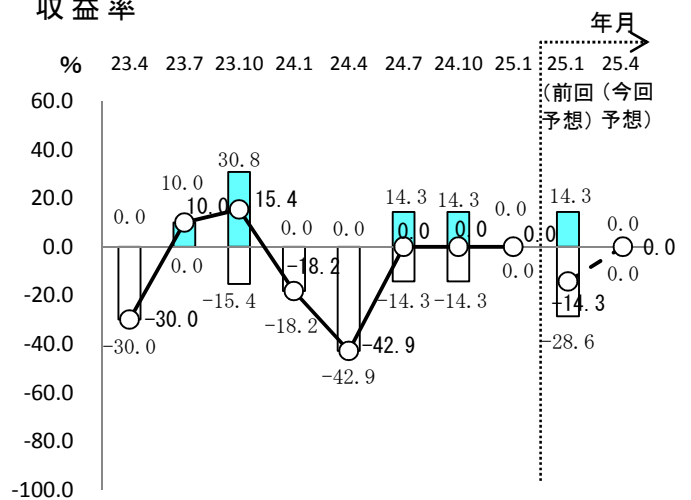
## 販売価格



## 資金繰り

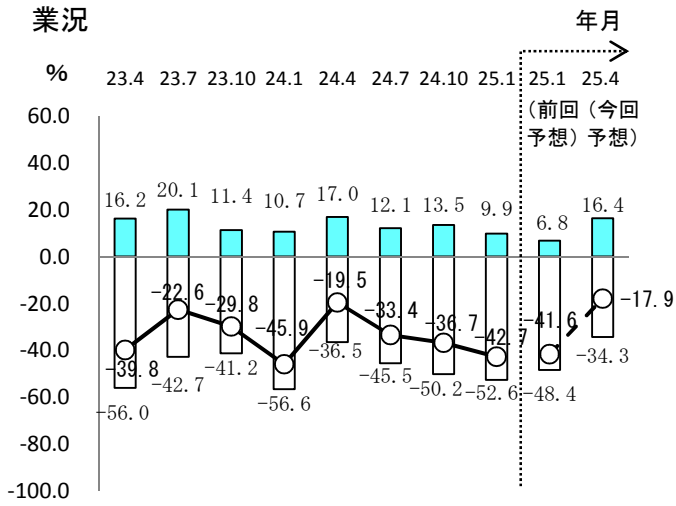


## 収益率

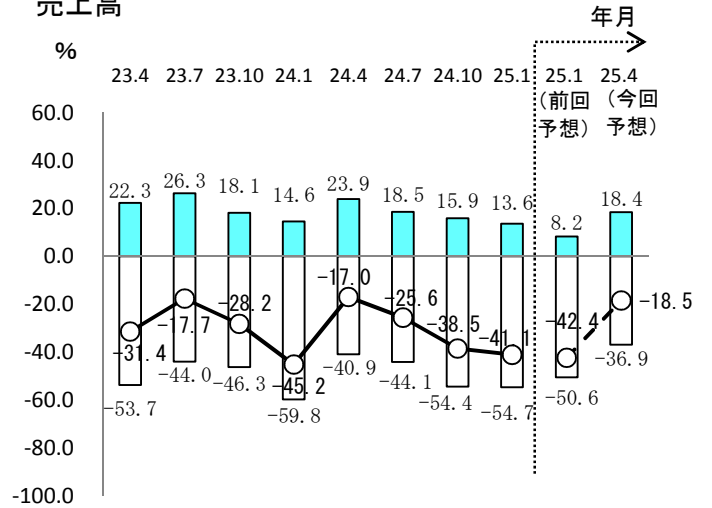


## 工 小売業・卸売業

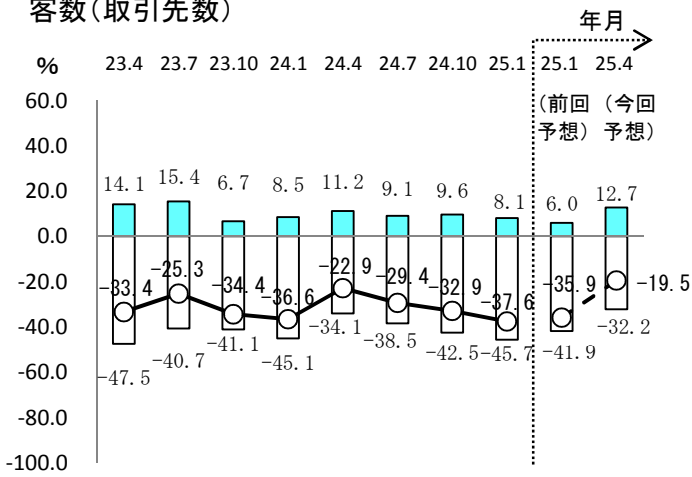
### 業況



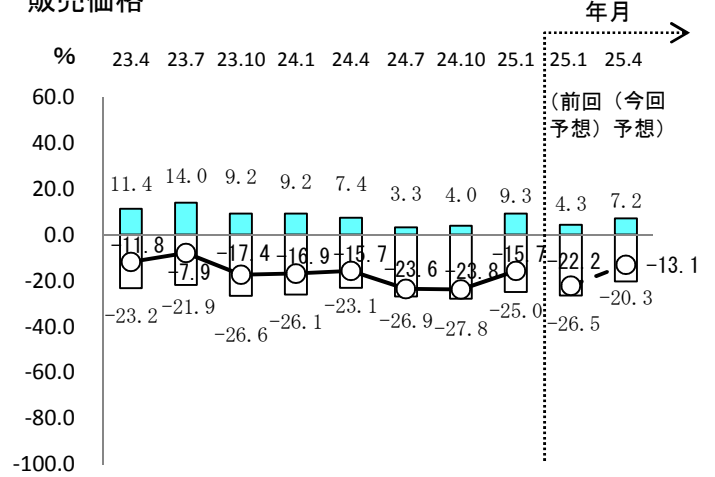
### 売上高



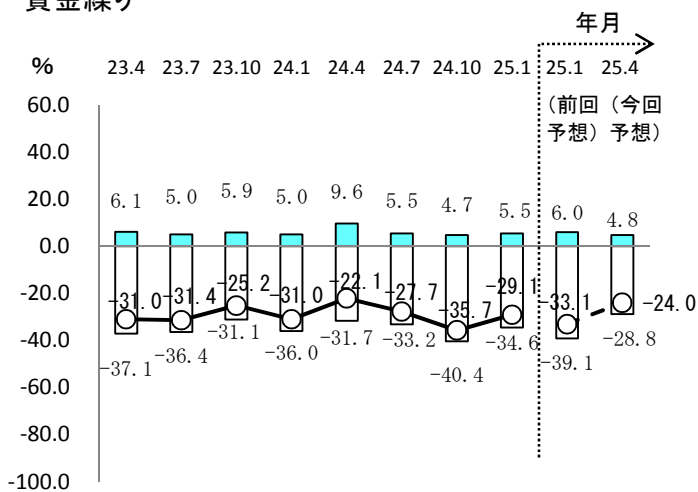
### 客数(取引先数)



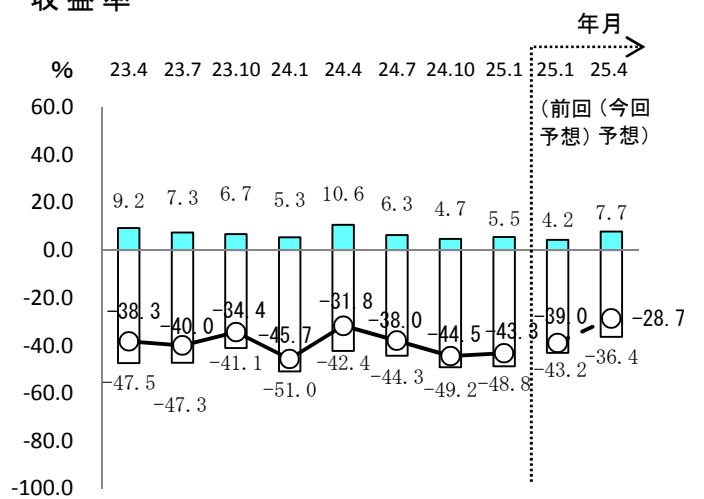
### 販売価格



### 資金繰り

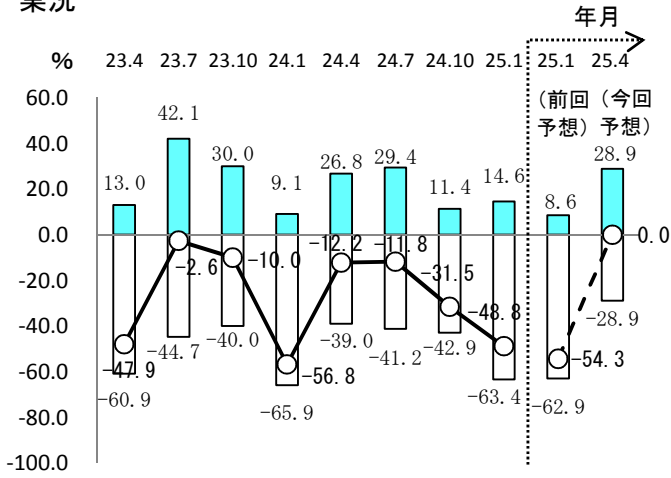


### 収益率

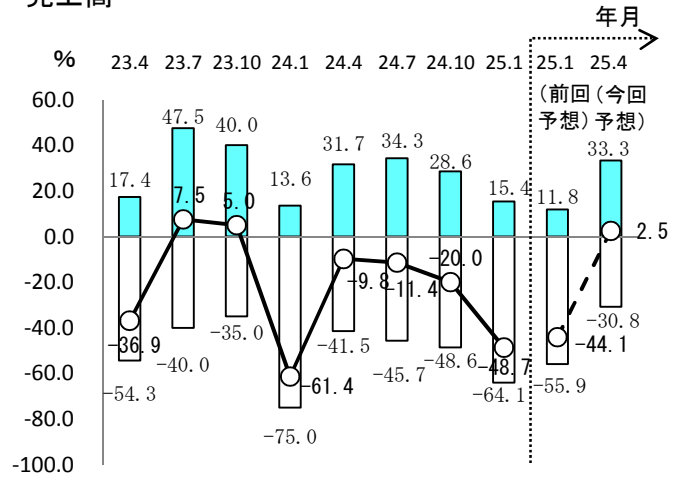


才 飲食業・宿泊業

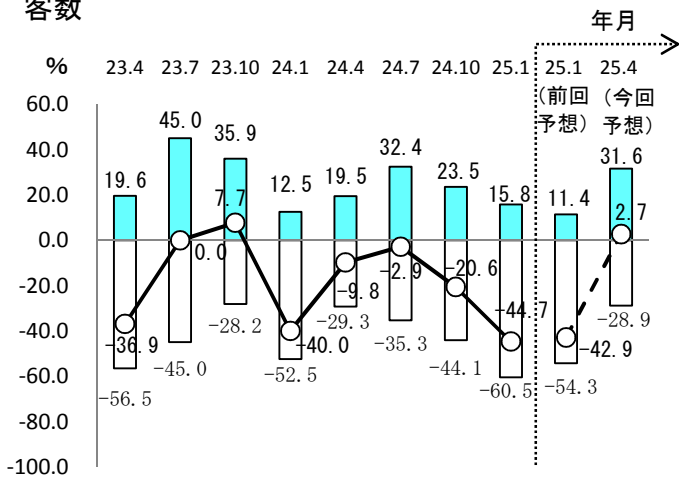
業況



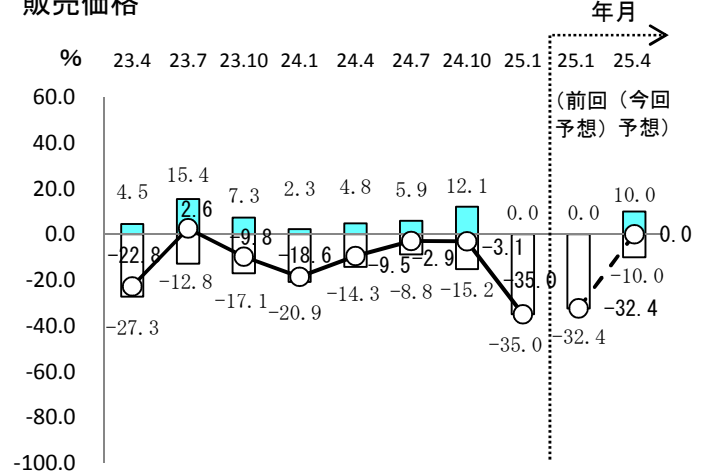
売上高



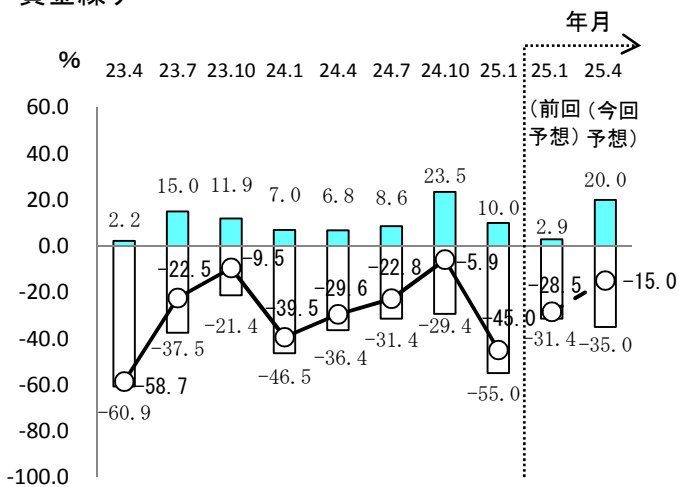
客数



販売価格



資金繰り



収益率

